

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意を得て実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用い研究等については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております。このような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた臨床研究は下記の通りです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている各研究の担当者までお知らせください。

研究課題名	膵がんに対する定位放射線治療のシミュレーション試験 ～空腹時照射と満腹時照射が周囲の危険臓器に与える影響～
当院の研究責任者	田中 修（放射線治療科 准教授）
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	空胃のほうが胃への線量を減らすことができるか。 膵臓癌に SBRT（ピンポイント照射）をするにあたり、膵に近接する胃もある程度の放射線は照射される。胃は飲食によって大きく形態を変えることができる。そのため、胃の容量が膵 SBRT において胃自身が受ける線量が、空胃と満腹胃でどちらが多いか検討する。これらを検証し放射線治療の方法論を探索することで、より最適な放射線治療計画を確立することを目的とします。
調査データ該当期間	～2021年4月30日
研究の方法（使用する資料等）	当院で CT 撮像された患者様の CT 画像を研究に使用させていただきます。
試料/情報の他の機関への提供	なし
個人情報の取扱い	完全に匿名化したうえでデータ管理し、プライバシー保護を厳守します。 データは第三者が立ち入りできない場所で鍵をかけて管理し、研究終了後、適切な方法で破棄します。
本研究の資金源（利益相反）	利益相反なし
お問い合わせ先	当院の研究責任者 田中 修（放射線治療科 准教授） TEL 058-253-8001
備考	